

## システム・情報部門学術講演会 2014 (SSI 2014)

## 玉置 久\*

\* 神戸大学システム情報学研究所 兵庫県神戸市灘区六甲台町  
 \* Kobe University, Rokko-dai, Nada-ku, Kobe, Hyogo, Japan  
 \* E-mail: tamaki@al.cs.kobe-u.ac.jp

JL 0005/15/5405-0366 ©2015 SICE

システム・情報部門学術講演会 (以下, SSI) は, 前年度 (2013 年度) に,

- パラレルセッションを廃止し, 全発表をシングルトラックのポスタセッションとする,
- 部会講演会や国際会議などですでに発表された内容の再発表を奨励する,
- SSI 特集号を英文論文集 (JCMSI) で企画・発行する, といったスキームのもとで大改革されており, その新 SSI の 2 回目が, 2014 年 11 月 21 日 (金)~23 日 (日), 岡山大学 (創立五十周年記念館) にて開催された. SSI 2013 大成功の揺り戻し (!?) が危惧されたが, 結果として参加者数 446 (前年度 381), 発表件数 345 (前年度 282) と大盛況であった. 技術交流会にも多数の参加があり, システム・情報部門の「お祭り」として部門の活性化に大きく寄与することができたと思われる.

特別講演は, 田中文英氏 (筑波大学) による「ソーシャルロボティクス」および池内克史氏 (東京大学) による「人間行動観察学習システム: 組立ロボットからダンスロボットまで」が企画され, とても興味深いものであった.

部門賞については, 部門賞選考委員会によって, SICE の和文論文集・英文論文集掲載論文や会誌掲載記事の中から以下の論文が選考され, 技術交流会で表彰が行われた.

## 部門論文賞

- 感染症実用シミュレーションにおける仮想都市構築法の違いによる結果への影響分析—日常生活スポット内包セル型仮想都市モデルの必要性—, 市川 学, 出口 弘, SICE 論文集, 49-11, 1012/1019 (2013)
- また, プログラム委員会により, SSI 2014 での発表の中からつぎの受賞が決定し, クロージングで表彰された.

## SSI Best Research Award

- クモヒトデのレジリアンなロコモーションに内在する自律分散制御則, 加納剛史, 佐藤英毅, 小野達也, 青沼仁志, 松坂義哉, 石黒章夫

## SSI 最優秀論文賞

- Information Geometric Optimization におけるサンプルの再利用, 大内一季, 白川真一, 秋本洋平, 大原剛三

## SSI 研究奨励賞

- 阿部恵里花 (京都大): 心拍変動解析を用いたドライバの眠気検出の開発とそのスマートフォンアプリへの実装

- 林秉譽 (京都大): Implicit Association Test を用いたドライバの安全運転意識測定法の提案
- 田附浩一朗 (兵庫県立大): 動的問題に適応した量子粒子群最適化法の性能
- 藤原幸一 (京都大): ウェアラブル心拍センサとスマートフォンを用いたてんかん発作兆候監視システムの開発
- 佐々木勇介 (名古屋大): 複数の目的地に対応した動的計画法に基づく車の使用予測
- 劉海龍 (立命館大): 運転行動時系列情報からの深層学習を用いた特徴抽出

さらに, SSI 2014 では, 最優秀論文賞の選考過程でファイナリストとなった論文を優秀論文賞として表彰した.

## SSI 優秀論文賞

- 心拍変動解析を用いたドライバの眠気検出の開発とそのスマートフォンアプリへの実装, 阿部恵里花, 藤原幸一, 平岡敏洋, 山川俊貴, 加納 学
- 記号コミュニケーションシステムにおいて言外の意味を成立させるメカニズムの計算モデルによる検討, 金野武司, 橋本 敬, 森田純哉
- 発電機の応答速度を考慮した静的  $H_\infty$  制御に基づくマイクログリッドの負荷周波数制御, 増井健治, 滑川 徹
- 機能共鳴分析手法を用いた鉄道運転操縦におけるリスク評価, 福田啓介, 榎木哲夫, 堀口由貴男, 中西弘明
- あるクラスのジレンマ問題に対する期待方策強化学習法, 高尾 晃, 黒江康明, 飯間 等

SSI は, 副部門長を実行委員長とし, 部会もちりりによる現地実行委員会 (2014 年度主幹はコンピューテーション・インテリジェンス部会) とプログラム委員会 (同自律分散システム部会) で運営される. 加えて, SSI 2014 では実行委員長補佐として広報担当を置き, 尽力願った. SSI 2014 の成功は, 両委員会委員および広報担当の先生方, ならびに参加いただいた皆様のお陰である. あらためて感謝申し上げる次第である.

つぎの SSI 2015 は, 2015 年 11 月 18 日 (火)~20 日 (木) に函館アリーナにて開催予定である. 研究成果発表と技術交流の場としての SSI に, 今後とも奮って参加されることをお願いしたい. (2015 年 3 月 9 日受付)